

令和7年9月19日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）スポーツ王国広島の部活動体制について

部活動を教育の一環として守り育てていく観点から、県として地域ごとに異なるスポーツ活動等の課題をどのように把握し、どのように具体的な対応策を講じるのか、教育長の所見を伺う。

また、スポーツ王国広島にふさわしい本県独自の方針を早急に示すべきと考えるが、併せて教育長の所見を伺う。

（答）部活動は、スポーツや文化芸術活動を通じて、目標に向かって切磋琢磨することや、異なる学年の生徒と交流することにより、心身の成長や、好ましい人間関係の構築などを学ぶための重要な機会であると考えております。

一方で、

- ・ 生徒数の減少でチーム編成ができない部活動が生じていることや、
- ・ 部活動顧問となる教員が必ずしも競技等の専門性を有しているわけではなく、負担が大きいこと

などの課題があり、その課題も学校や地域により異なることから、学校や地域の実情に応じた持続可能な仕組み作りの構築に向けた取組を進めていく必要があるものと考えております。

このため、今年度、改めて各市町を訪問し、部活動の地域展開について個別に意見を伺ったところであり、その結果、

- ・ スポーツ指導者となる人材の育成・確保や、
- ・ 地域で受け皿となる運営団体の確保、
- ・ その団体の運営等に係る財源の確保

などの取組を進めていく必要があるものと考えております。

まず、指導者の育成・確保につきましては、地域政策局と連携し、多くのトップスポーツチームを有する本県の特徴を生かし、トップス広島と指導スキルや実技指導等の研修を実施しているところでございます。

今後も、こういった取組を継続するとともに、他県の先行事例も踏まえて、地域での活動も希望する教職員の兼職兼業に係る条件整備や、退職教員や大学生などスポーツ経験者の協力も得ていくなど、指導者の確保に向けた取組を行ってまいりたいと考えております。

また、地域で受け皿となる運営団体の確保につきましては、例えば市町の競技団体や市町教育委員会等を運営主体として、休日の部活動を地域クラブとして運営する取組などが進められている事例があり、こうした取組を他市町に情報共有することで、地域の実情に応じた取組の推進を図ってまいります。

さらに、指導者や運営団体の確保・運営などには、安定的な財源の確保が必要となることから、国に対して、必要な財政措置を行うよう、引き続き、様々な機会を捉えて、働きかけてまいります。

県教育委員会といたしましては、地域の実情に応じて部活動の充実に向けた環境を整えることが必要であると考えており、県としての統一的な方針は示しておりませんが、各市町が地域の実情に応じた方針でスポーツ等に親しむ機会を充実することができるよう、県として積極的に関わり、効果的な支援につなげてまいりたいと考えております。